

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3370104998		
法人名	(株) エス・エッチ・メデカル		
事業所名	グループ ホーム かえで (1階)		
所在地	岡山市 南区 松浜町 7 - 34		
自己評価作成日	平成21年12月25日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/informatiionPublic.do?JCD=3370104998&amp;SCD=320">http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/informatiionPublic.do?JCD=3370104998&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート		
所在地	岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館		
訪問調査日	平成22年1月29日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「個々の能力を生かした温かいケア」の理念に基づき、研修(実践者研修・リーダー研修)を受講した職員を中心に利用者に寄り添ったケアを行うにはどう関われば良いのかを常に考えながら、家庭的な雰囲気でも過ごしていただけるように心がけている。ご本人やご家族の希望をケアに取り入れ、看取り介護も積極的に行っている。  
開所から7年経過し、運営推進会議を通して地域との交流が更に深まり、地域に根ざした施設になっている。入居者様が地域主催の行事に参加したり、地域の方々や子供会が施設の行事に参加していただくこともあり、開かれた施設運営ができています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「その人らしく生き生きと暮して欲しい」は、どこに行っても聞かれる願いだが、現実はまだなかなかだ。しかし、このホームでは開設後7年と言うのに、次々とそんな場面に会った。例えば大正6年生まれの元氣者Aさんの、男性としての精気・色気・創作意欲は今日も全く衰えを感じさせない。Aさんがすばらしいだけではない。AさんがAさんらしさを保つ為に職員が影で日々挑戦している数々の工夫や努力は並大抵のものではないと思う。法人グループが毎年実施している「改善コンクール」への取組みが大きな弾みになっているかもしれないし、利用者家族や地域の方々の多大な協力がこのホームをここまで育てたのだろう。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個々の能力を生かした温かいケア」の基、可能な限り実践している。	法人全体が掲げる理念を常に頂点に置きながら、日々変化している利用者一人ひとりをしっかりと見つめ、その人がどう生きたいか探り、足りない所だけを援助する為に個々に目標を設定し実践している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で、現在取り組んでいる内容について報告したり、意見交換をし、町内の行事に参加したり、地域の方との合同の避難訓練、散歩時に挨拶を交わしたりと、日常的に交流している	運営推進会議において非常に良い意見交換ができる等、良い協力関係が得られている。また、ホームの行事のもちつき大会では町内の方々が後半はほとんど取り仕切ってくれたり、避難訓練でも力を貸してくれている。	地域との交流は訪問毎に広がりを見せているが、更に幼児・児童・生徒との交流、又現在計画中の「認知症相談の場」や講演等、ホーム機能の地域還元を期待している。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方にアルバムやビデオを見ていただき、「認知症とは」と理解していただくよう努力している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、現在取り組んでいる内容について報告したり、意見交換をしサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、定期的に町内会(会長・副会長・民生委員・愛育委員・婦人部)、地域包括、家族等の出席を得て有意義な会が運営されている。ホームに対して、また認知症ケアに対しても理解が深まっている。	運営推進会議の取り組み内容・意見交換等、充実した会でホーム理解や地域交流への波及効果も大きいと思われる。さらに意見交換への利用者本人の参加や報告の活用の幅を広げて見たい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者との連携は密にとっているが、市町村担当者の運営推進会議への参加は、難しい状況。	地域の行政担当者には、各種規定や基準について等、わからない事をよく質問し指導を受けている。運営推進会議への出席はその都度お願いしているが、岡山市側からは参加・協力の意向が伺われない。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会、身体拘束委員会へ積極的に参加し施設全体で身体拘束廃止への取り組みを行っている。具体的には鍵をかけない工夫や行動を制限しない声かけの工夫など	法人全体としてもホーム独自でも研修や勉強会を積極的に実施している。対象となる行為はないが、職員の言動の中に、利用者拘束感を抱かせる事はないか、声かけの仕方や対応への振り返りをよくしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修等に参加し、その資料を基に勉強し、虐待の防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	積極的に、外部講習で学び、他の職員もその資料を基に勉強している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、書面にて説明し、理解、納得していただいている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催したり、アンケートをとり、家族の要望を業務に反映させている。	家族会を実施してもほとんど交流に止まっている所が多いが、この家族会はホームの運営やリスク面に關わる意見交換も有り、真の意味の家族会となっている。接遇やケアの有り方等を問う家族アンケートも、非常に参考になる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の話し合いで業務提案をし、話し合い、業務に反映させている。	「このホームを自慢したい所」の話にも出てきたが、職員同志は日頃からよくコミュニケーションが図れていてお互いに思う事が言い合える関係になっているようだ。定期的な会議に於いても意見交換が活発になされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	休日確保し、委員会等で役目を振り分けたり、ありがとうの箱に気づきの意見を投入したりして、向上心を持って働けるよう整備に努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、外の研修に積極的に参加できるよう努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会、講習会に参加を促し、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話に耳を傾けるよう努力し、少しでもご本人の安心を確保できるよう努力している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	出来るだけご家族の話に耳を傾け、信頼関係づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できるだけ、「その時」必要とする支援を見極め、ご本人と、ご家族の意見を尊重しながら、他のサービスの提案をしている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人を尊重することに日々努めている。出来るだけ、職員の対応が、暮らしを共にするもの同士の関係になるよう努力している。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等に、少しでもご本人の為になるように話し合うよう努力している。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来るだけ散歩や、買い物に出かけ、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者が以前との関係継続を必ずしも望まない人もあるので、本人の意向をよく確認しながら、希望する人に対しては「知り合いとよく顔を合わせられる店」へ買物に行ったり、散歩の途中、おしゃべりを楽しめるよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人の性格や、能力に配慮し、さり気なく関わり合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出来るだけ本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努め、退去された家族のボランティアを受け入れている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で希望があれば、聞き逃さず把握し、活かせるように努めている。困難な場合は、生活歴や、家族の話を基に検討している。	自分の思いや意向が十分に伝えられない状況の利用者も増えてきているので、どうしたら本人本位の暮らしに近付ける事ができるか、職員は研修や改善コンクールを通して、また本人や家族との話を大切にして探っている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や、好みの物をたずね、把握できるよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録や申し送りをすることにより、現状を把握できるよう努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画段階で家族が参加できていないことがあるため、家族の参加を増やしていくと共に、本人へは、日々の暮らしの中で聞き出すよう努めている。	職員は利用者の状況は刻々と変化するものだからケアプランもその都度検討すべきだと考えている。又高齢者と言えども新しい発見を援助しケアプランへという試み等、このホームのチャレンジに期待している。	今の利用者の状態を見ると自分の暮らし方を自分で考えたり、意向を伝えたり出来そうな人も居るので、問い掛けを工夫してケアプラン作成に本人も参加してみてもは如何か。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子に変化があったら、個別記録に記入し、申し送りなどで、情報を共有できるようにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望に応じて柔軟に対応できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、可能な限り支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度かかりつけ医に診察してもらい、本人及び家族の希望に沿うよう支援している。	利用者の希望により、法人の母体である病院の掛かり付け医に定期的に往診して貰っている。他の診療科や急変時はホームの職員又は家族が付き添っている。看護師の存在も大きな力となっている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で看護師の相談し、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	積極的に、病院関係者との情報交換や、相談に努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合等早い段階から家族等と話し合い、事業所で出来ることを十分に説明し、関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	法人全体としてもホームとしてもターミナルケアについては十分な取り組み体制を整えており、7年の間に2人、現在も1人支援中である。先日GH協会の「その人らしく生きる」(看とりを通して)の事例発表では、本人の苦しみ・訴えに職員がどう向き合ったかが良く伝わり、涙があふれた。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員は、応急手当や、初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方や、消防職員と共に救難訓練を行い、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけている。	年に3回災害対策として避難訓練を実施している。地域住民や南消防署員も招いて訓練をした時は、地元の方の協力や署員の指導やアドバイスもあり、非常に有意義であったとの記録も見られた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に気をつけて声かけをする様にしている。	以前は「この人の為に何かしなくちゃ」という思いが強かったが、今は「今のこの人をしっかり見つめて、その人のペースに合わせて」に変化し「待つ事の大切さ」も実感していると言う。真の人格尊重の意味に達していると思う。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、出来るだけ、本人の思いや希望を尊重し、自己決定が出来るよう働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、最大限希望に沿って支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人の希望にそって、身だしなみや、おしゃれが出来るよう支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、最大限可能な限り、利用者と職員と一緒に、準備や片づけをしている。	食材は業者に配達して貰っているが、調理はお手伝いしたい利用者と一緒に職員が一人ひとりの状態に合わせて作っている。ミキサーやトロミ等、特別な人や介助の必要な人も居るが、皆一緒に食事を楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方には、水分量をチェックしたり、粥、刻み食等に対応し、食事量や栄養バランス、水分量が確保できるよう支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	共用トイレもあり居室にもそれぞれあるので、居室に排泄チェック表を置き、排泄パターンを職員は把握している。自分でチェック出来る人には自分で記入して貰っている。入居前頻尿だった人もここでの支援で改善している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の提供や、運動への働きかけを、個々の能力に応じた予防に取り組んでいる。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を楽しめるように、入浴剤を選んでいたり、最大限本人の希望に沿った支援をしている。	だいたい2日に1回は入浴している。服を脱ぐ事に抵抗のある人も、湯船に入りさえすれば「いい気持ち！」になると言う。少し大きめの家庭風呂といった感じで、もうすぐ入浴と言う午後の脱衣所も暖かだった。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安眠できるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録にて、薬の目的、副作用、用法や要領について、理解し、薬の変更があった場合には、申し送りをし、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や能力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、散歩等気分転換の支援をしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	可能な限り、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。ドライブに出たり、家族の協力を得て、出かけるようにしている。	今日は庭の楓の葉も揺れていたが「お日様が呼んでいるから」と散歩にお出掛けの人や表の庭で日光浴の人もいた。すぐ近くに手頃な公園があり、近所の人とお喋りもする。回転寿司へドライブや家族とお出掛ける事もよくある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自ら電話をしたり、能力に応じて手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごせるよう、家具の配置を工夫したり、季節の花を飾ったりしている。	利用者の力作の川柳や絵・書その他の作品・職員の愛たっぷりの皆さんの写真、00さんの曾孫ちゃんが作った大きなトラ等、リビングや玄関に彩りを添えている。居心地良い居場所もあちこちに用意されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思い過ごせるような工夫をしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるように工夫している。	「ここは一等室」と部屋のあれこれを説明してくれる00さんは、ここでの生活に満足しているようだ。各々思い思いの物を入れたり飾ったりしており、本人や家族の思いが色々と伝わってくるようだ。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全でかつ出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		